



2010-2011 RI President  
**Klinginsmith Ray**



2010-2011 D.2640 Governor  
**Mariko Yoneda**

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

## Main Contents

RI 会長メッセージ

ガバナーメッセージ

会員増強・拡大について  
直前ガバナー 村上 有司

会員増強について  
会員増強・維持委員会委員長 倉 保雄

クラブ拡大によせて  
クラブ拡大委員会委員長 豊澤 洋太郎

2010-2011

8

NO.2

## 2010-2011年度RI会長メッセージ(変化の風)

親愛なる同僚ロータリアンの皆さん、

なんと驚くべき世界でしょう! 技術の進歩はものすごい速さで進み、私たちの事業や専門職務に絶え間ない変化を起こしています。しかし、全世界に住む人々の約3分の1は、その暮らしにほとんど変化がないまま、最低水準の生活を続けています。これは極端な格差であり、心配の種の一つです。

### 卓越した伝統と明るい未来

ロータリーは、卓越した伝統と明るい未来をもち合わせています。私の国際ロータリー(RI)会長としての第一の仕事は、各ロータリークラブの活力と実現性の強化、そして、社会が変化している中で、クラブを成功に導くことです。これは非常に重要な仕事です。なぜならば、社会の根底に存在する問題に焦点を当て、その問題を軽減して、それによって世の中を良い場所にするのは各クラブだからです。

Wind of change (変化の風)という言葉は、私が1960年代初頭にロータリーの奨学生として南アフリカにいたころの、新しく意義深い言い回しです。私のホストシティであるケープタウンで最初に広まったこの言葉を、私たちの組織の変化に関して影響を与える社会の変化を考えると、ロータリーに適用できるということは思いがけないことです。

この慣用語は今、Winds of change (変化の風)として当時にも増して知られるようになりました。

### 最良の日はまだ先にある

私たちは今、国際ロータリーで改革の文化を享受しています。私たちは私たちの中核となる価値観をしっかりと維持すれば、プログラムや奉仕活動全体を見て、それらをより良くできるかどうかを見極める能力をもっています。私は多くの

ロータリアンたちがそれぞれのクラブや地区においても同様に、改善点を確認したり実施するために、この機会を活用されることを願っています。

私たちの33,000クラブでロータリーは息づいています。そして、「地域を育み、大陸をつなぐ Building Communities Bridging Continents」ことによって、向上するのはクラブなのです。

もし次年度、私たちがクラブをより大きく、より良く、そして、より力強くする手助けに成功したら、ロータリーの最良の日は、まだ先にあることが明らかになるでしょう。私たちはロータリアンで幸せです。私たちは共に、世界をより良い場所にする事ができるのです。



レイ・クリンギンズミス  
2010-2011年度 国際ロータリー会長



親愛なる同僚ロータリアンの皆さん、

何人かのロータリアンから、私の会長年度の国際ロータリー (RI) テーマとして「地域を育み、大陸をつなぐ Building Communities - Bridging Continents」という言葉を選んだ理由を尋ねられましたので、説明させていただきたいと思います。

### 二つの目的を同時に満足させる言葉

過去のすべてのテーマを検討した結果、私はロータリアン以外の人々に私たちの目的をひと言で理解してもらえ、ロータリアンの皆さんには会員としての誇りをもってもらえるという、二つの目的を同時に満たすような言葉を探すことに決めました。

そこで私は、ロータリアンとしての情熱、創造力、それに寛大さを言い表す言葉を探しました。ふさわしい言葉を考えるに当たって、ロータリーとはロータリークラブの組織であるとともに奉仕の精神であり、私たちは、奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップといった中核となる価値観をほかの人々やほかの組織と共有しなければならない、ということを中心に留めていました。

私は多くの語句を検討しました。その結果、ロータリーの現在の任務を述べ、ロータリアンたちが最善を尽くしている私たちの顕著な業績について述べる4つの単語を選びました。「地域を育み、大陸をつなぐ Building Communities - Bridging Continents」です。

### ロータリーは世界をより良い方向に変え続ける

これら4語が「ロータリアンとはどのような人々で、何をしようとしているか」を適切に言い表していると、皆さんにご同意いただけるよう願っています。私たちはたぐいまれな組織で、

事実、世界で最も優れた組織の一つです。私たちは、私たちの大切な地域社会においては精神と資源を築き上げ、世界的には、ポリオ・プラスや国際奉仕プロジェクトの立役者です。

ロータリーは世界を変えてきました。そして、ロータリアンたちはそれをより良い方向に変え続けるでしょう。その方法は単純です。私たちにとっての成功、私たちが成すべきことすべては、ロータリアンたちが情熱を傾け、ロータリアンたちが何かをするとき、もっとも得意な分野に私たちの最善の努力を集中すること、それが「地域を育み、大陸をつなぐ Building Communities - Bridging Continents」なのです。



レイ・クリンギンスミス  
2010-2011年度 国際ロータリー会長





2010-2011年度 ガバナー

米田 真理子

Mariko Yoneda

## GOVERNOR MESSAGE

# 違いをもたらそう (ONE DIFFERENCE) ロータリアンとして学ぼう

謹啓 新年度がスタートしてすでに例会を3回、4回と重ねられ新会長の醸し出す新しい雰囲気は例会場を覆っていることと存じます。

私も7月1日の東京でのガバナー会、10日の諮問委員会を終え 17日のクラブ会長会議にて会長の皆様に再会でき、新しく2640RLIを開催する運びになり、ご報告が出来ましたこと大変嬉しく思っております。

当地区パストガバナー中島治一郎様を経てKalyan次期RI会長からのメールで、日本の会員数減少の傾向に歯止めが掛からないことを憂えて居られて(1)日本での会員減少の理由、(2)会員の平均年齢を下げる良い手立て、(3)女性会員の数を増やせないか、(4)より若い青年男女を会員にするには如何すべきか? と言うような事柄に対する答えを模索しておられることが分かりました。

8月は会員増強およびロータリー拡大月間であります。21世紀のロータリーはどこへ行く?

不況が及ぼす影響で時間的経済的余裕のなさ、入会者の減少、退会者の増大、組織に対する信望の低下に続いてクラブにいることの意義、クラブに絶望した、クラブに魅力を感じなくなった、以上が会員減少の大きな原因と総括できるでしょう。

以上を鑑みれば、ロータリー哲学を忘却して親睦のみに重点を置く形骸化したクラブ運営、マンネリ化した例会運営、すべては内部事情によるものであって、ロータリアンを教育するプログラムの充実が急がれます。したがって今年度は2640RLIを開催することを決めました。ロータリアン、国際ロータリー、ロータリー・クラブ、が「ロータリーとは何か?」を問い続けるためにロータリーについて考える機会を持ちたいと思います。1月2月3月にパートI～パートIIIを予定しております。クラブ会長ご推薦によるロータリアンのご参加をお待ちしております。



### RLI:ロータリー・リーダーシップ研究会の概要

ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)は、ロータリー・クラブの指導者開発計画を実施するための、ロータリーの地区と地域の基本的な連合組織です。RLIは高い教育的な経験を備えた将来のクラブ指導者を要請する目的で、その可能性のある特定のロータリアンを支援するために、ニュージャージー州の中央にある7510地区で、デヴィッド・リネット地区ガバナーによって1992年に設立されました。

1994年には、ニュージャージー州で更に3つの地区が加わって多地区の活動となり、1998年には、31ゾーン、32ゾーン(アメリカの北東部、中部大西洋岸、カナダの一部)に広がり始めました。

RLIが2つのゾーンに広まったことで、このプログラムは国際ロータリーの役員に関心を惹きました。プログラムは、2001年の国際協議会のスピーチの中で取り上げられ、「指導力成功談」としてRIウェブ・サイトに掲示されるとともに、RIニュース・バスケットの2002年3月20日号の記事にもなりました。RI理事会は、クラブや地区がRLIおよびこれに類似したプログラムに参加することを推奨するという決議を採択しました。

2001年9月に、RLI常任委員会はロータリーの世界全体に、ある程度の自治権を持った支部を作るという拡大計画を採択しました。常任委員会は、31ゾーン、32ゾーンの外部に拡大する必要性を認める一方で、支部を成功させるためには、RLIからの支援が必要であることを認めました。すでに結成された支部の名前はRLIのウェブ・サイト <http://www.rotaryleadershipinstitute.org>に掲載されています。

2003年9月に、RLIと本部(31ゾーン、32ゾーン)の機能は切り離され、現在、支部の統括機能は国際ロータリー・リーダーシップ研究会もしくはロータリー・リーダーシップ研究会と呼ばれています。

統括組織の管理主体は、それぞれの支部長によって構

成されたRLI調整審議会(RLI Coordination Council)、国際委員長、国際常務理事、将来も受けられる予定の調整審議会の他の役員です。調整審議会はRI国際大会のほか、委員長または審議会の招集によって開催されます。調整審議会は年次予算と支部分担金を決定し、RLIの基準と目標を決定します。

### ロータリー・リーダーシップ研究会の任務

ロータリー・リーダーシップ研究会の目的は、クラブの会長によって推薦された、指導者としての素質を持った特定のロータリアンに、教育を受ける機会を提供することです。

各クラブの会長は、クラブの指導者候補者として(必ずしも、会長候補者というわけではありません)会員を指名するように要請されます。指名された人は、ロータリーの知識と指導力を伸ばすためのコースを受講することができます。これらのコースは、熱心でひたむきなロータリアンになるように受講者を動機づけることを期待したものです。

3日間コースの全期間出席した人には、完了の認証が与えられます。講義内容はもっとも斬新なもので、可能な限り出席者参加形式が採られます。その手法には、グループ・ディスカッション、ロール・プレイング、問題解決ワークショップ、グループ計画トレーニングなどが含まれ、講演は限定されています。

「太陽の光が永遠に陰ることはありません。緑色の存在に気づくまでには、芽を出す時間が必要なのです。種をまいた人が常に収穫できると限らないのです。」…アルバート・シュバイツァー

RLIの結成につながった問題点は、私たちのロータリー・クラブの多くの会長やその他のクラブ指導者たち(我地区のことではありません)が、ロータリーに関する僅かな知識しか持たないで、特に自らのクラブ外のことや、ロータリー運動を前進させていくのに必要な指導力に関する乏しい知識し

か持ち合わせないで就任すると言うことが要因です。良い指導者がいるクラブは、価値があって関心の高い奉仕プロジェクトに会員が係わり、存在感と友情の雰囲気をかもし出し、良いプログラムを伴った関心ある例会を行って、会員を育て、退会防止を図っています。指導力こそが、私たちのクラブを成功に導くための重要な要素なのです。PETS、地区チーム研修セミナー、地区協議会などのガバナーエレクト主催のRI研修プログラムのほとんどすべては、具体的な活動に関するプログラムです。RLIはロータリーのリーダー候補者に焦点を合わせるもので、特定のロータリーの役職にある人に焦点を合わせるものではありません。すなわち、一般的な指導者教育を提供するものです。

基本的なコースでは、丸3日間の「部門Part」が提供されます。参加者によっては、3年間かけて毎年「1部門」を受講するかもしれませんし、異なった場所で他の「部門」に出席するかもしれません。本部では、参加者はいかなる場所のコースでも出席できますし、どの場所でも同じプログラムを実施しています。「部門」はパートI、II、IIIの順番で受けなければなりません「3部門」が終了したときに、参加者はRLIピンを受け取り、次いで、様々な問題に関して深く研修する「卒業生セミナー」を選択することができます。卒業生プログラムは、毎年、広げられる予定です。

カリキュラムの話題はウェブ・サイトに掲載されています。カリキュラムは毎年改訂され、改定された指導者用資料や参加者用資料は、ロータリー年度初頭、すべての支部に配布されます。

指導者は、ディスカッション・グループを指導する前に、丸1日かけてオリエンテーション・プログラムを受けます。通常、指導者の大部分は、そのコースを実施する目標となった地区以外の地区から来ます。本部における指導者は、毎ロータリー年度に、2日間か3日間以上のコースを志願するものと予想しています。指導者は地区ガバナーや地区RLIリーダーによって推薦されます。指導者は、元理事、元クラブ会長から選びますが、特別な才能のある場合には、まだクラブ会長をしていない人から選ぶこともあります。指導者を選ぶ

場合の重要な評価基準は、講演することではなく、議論を導き出す能力なのです。

さて、村上直前ガバナーの熱心な御活動で、我地区は2010年6月末はマイナス10名と言う、プラスには転じ得なかったものの、会員減少にブレーキがかかったことは断言できるでしょう。本年度は前半に地区大会での地区指導者育成セミナー、そして後半に3回のRLI開催を予定しております。このことが会員増強の礎となりますことを深く願っております。



## 2010-11年度 2640RLI開催について

### 運営委員会

地区研修委員会担当

委員長：三軒PDG

委員：成川PDG

委員：前窪PDG

### 日程

2640RLI パートI 2011年1月23日(日)

2640RLI パートII 2011年2月20日(日)

2640RLI パートIII 2011年3月27日(日)

# “会員増強・拡大に関する”一考案

クラブ奉仕カウンセラー  
村上 有司（直前ガバナー）

1、ポール・ハリスら4人が、1905年2月23日、シカゴのダウンタウンにあった事務所に集ってスタートしたロータリークラブは、105年の歳月を経て、200を越える国又は地域に、クラブ数33,660、会員数1,212,690人の組織に成長した(2010年2月28日現在)。

2、「数が増えることは、良いのか悪いのか」色々の見解がある。中には、「現在のロータリーの衰退は、規模の拡大・会員の増大にある」と酷評する人もいるが、これは間違いであって、「クラブ数や会員数の増加」は間違いなく発展の軌跡である。ロータリーは世界中に拡大し幾つもの大陸をまたぐことになり、ロータリアンも風土・風習を異にし哲学にも差が出てきている。“奉仕”一つをとっても、アングロサクソン系と儒教を中心とする東洋系とでは考えが違い、それが指導理念の差異となり不協和音の基となる。しかし、このために組織拡大を止めたり、会員増強の力を抜いたり出来ない。今のロータリーが、「世界平和」と「全人類の幸せ」という広大な目標を迫及する以上、世界中に多くのクラブをつくり、友人を増やさなければならない。思想・信条・宗教・風習等の違いを乗り越えて、それをのみ込んだ上で相互理解をする必要がある。ロータリーは、これを受け入れる“寛容”の組織であったからこそ大飛躍をとげたのである。ポール・ハリスは、初期の著作「合理的ロータリー主義」の冒頭で、「もし神の導きで、いつの日か巨大なコロシラムの演壇に立ち、すべてのロータリアンの目を見ながら私が一言だけ語ることを許されるなら、一瞬のためらいもなく、私は大声を張り上げてこう叫ぶ—『寛容!』と」と述べている。

3、会員増強については「質か、量か」の議論もある。しかし、有限の命しかない我々が、無限の組織を存続させるためには、新しい人材を受け入れ育成する以外に方法はない。「ロータリーは、選抜された人々の集団」と泰然自若と構えている時代は過ぎた。「門戸を広くし、多くの会員を迎え入れ、ロータリーの土俵で切磋琢磨する」ことが大切である。

4、1996年に3,870人いた地区会員は、毎年100人前後減少して2009年7月には2,233人に落ち込んだ。危機的状況を脱する努力をし、6月末で10名の減員に止めることが出来た。各クラブの意識改善は進んでおり、この機会を生かして地区活性化が進んでほしいと希望している。



# 会員増強について

国際ロータリー第2640地区会員増強・維持委員会  
委員長 倉 保雄



8月は会員増強月間です。

皆様には日頃より地区会員増強・維持委員会にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

さて皆様のクラブにおかれましては会員の増強はいかがでしょうか。会員増強はロータリークラブ全員の責務であることは皆様もよくご理解いただいている事と思いますが、全体としては思ったほど成果が現れておりません。理由はいくつかございますが、一つには残念ながら自然な減少がございます。また、いたしかたない理由で退会なさる方もおられます。しかしそのような理由を除いては何としても防いでいただきたいと思えます。その為にクラブでは会員の親睦を一層深めていただきたいのです。皆様が心をわって話せるような友人関係を築いていただきたいと思えます。そのようなクラブは魅力があります。私がロータリーに入会させていただいた際、今は亡き先輩からインフォメーションで「倉君、ロータリーに入会しても何のメリットもないよ、でも君が努力すれば素晴らしい友人に出会えるよ。自分もロータリーでかけがいのない友人がたくさん出来たことが喜びです。本当に良かったと思っているんだ。」とおっしゃったのが昨日のように思い出されますが、今では私の言葉となっております。

会員増強は大切ですが、退会を防ぐ方が増強を図るよりはるかに容易でクラブにとって有意義だと思います。しかし、とは申しましても運営上、活動の力には人数も必要ですのでクラブ会員増強委員長様、委員様はこの両方についての実践の為にリーダーとして力を発揮いただき会長様・幹事様はじめクラブの皆様全員で取り組んでいただきますようお願い申し上げます。



# クラブ拡大によせて

地区クラブ拡大委員会  
委員長 豊澤 洋太郎



本年度の地区クラブ拡大委員会の目標は、和歌山地区に例会時間20時または21時開始のナイトクラブ及びe-clubの設立の可能性の研究と調査の開始。大阪地区においては、モーニングクラブとナイトクラブの設立研究と調査を開始いたします。大阪地区の新クラブは従来方式のスポンサークラブ方式と致します。但し昨今の経済状態ではかなりの苦勞が予想されるため、複数のクラブの共同スポンサーも可能性を探りたいとおもいます。また昨年度は地区役員・地区委員の皆さん方のご協力により地区主導のクラブが創立されました。

ご協力頂いた地区の皆様方に心よりお礼申し上げます。それと2年前より各クラブにお願いいたしておりますクラブ拡大委員会の設置を本年度も宜しくお願い致します。



**前田 吉彦**

所属クラブ： 田辺東  
職業分類： 税理士  
生年月日： 1973年5月3日



**平野 好史**

所属クラブ： 田辺東  
職業分類： 水道工事  
生年月日： 1974年7月24日



**玉置 和男**

所属クラブ： 田辺東  
職業分類： 看板・テント販売  
生年月日： 1949年7月17日



**床浦 勝昭**

所属クラブ： 新宮  
職業分類： 自動車販売  
生年月日： 1969年6月25日



**宮本 和彦**

所属クラブ： 和歌山アゼリア  
職業分類： 通信業  
生年月日： 1964年8月11日



**尾前 勝英**

所属クラブ： 和歌山  
職業分類： 住宅製造販売  
生年月日： 1961年4月15日



**岡本 和三**

所属クラブ： 泉佐野  
職業分類： 植物油製造  
生年月日： 1949年8月7日



**綾野 浩司**

所属クラブ： 岸和田  
職業分類： 生命保険  
生年月日： 1961年12月27日



**奥野 眞一**

所属クラブ： 堺東  
職業分類： 人材派遣  
生年月日： 1959年1月24日



**宮前 武生**

所属クラブ： 堺  
職業分類： 証券業  
生年月日： 1961年7月13日



**瀧本 昌右**

所属クラブ： 堺  
職業分類： 生命保険  
生年月日： 1963年2月24日



**中村 佐久治**

所属クラブ： 堺  
職業分類： 警備業  
生年月日： 1956年7月24日



**島原 隆夫**

所属クラブ： 貝塚  
職業分類： バス事業  
生年月日： 1954年10月10日

---



**岩下 由美**

所属クラブ： 貝塚  
職業分類： 土木工事業  
生年月日： 1959年9月5日

---



**古川 一成**

所属クラブ： 貝塚  
職業分類： 電気設備  
生年月日： 1960年3月28日

---



**丸山 孝明**

所属クラブ： 堺おおいずみ  
職業分類： 経営コンサルタント  
生年月日： 1955年9月16日

---

## PHF・ベネファクター(6月分)



お名前	回数	クラブ名
安井 八州夫	2	岸和田東
寺田 歩	1	岸和田南
坂野 洋南	F	那智勝浦
古川 元一	BE	富田林南
中村 善夫	F	和歌山アゼリア
田端 順造	1	和歌山アゼリア
吉村 利規	3	和歌山南

## 米山功労者(6月分)



お名前	回数	クラブ名
福井 康雄	1	橋本紀ノ川
尾道 博	4	貝塚
野 淳一	11	岸和田東
富田 茂利	8	堺
河合 要祐	3	堺北
那須 泰三	3	堺北
綿谷 伸一	2	堺北
福森 哲二	4	堺南
南 延弘	1	堺南
足助 重賢	4	白浜
萩 和夫	1	太子



『ロータリーの友』8月号、お届けいたします。

先月号を配布後、「『ロータリーの友』を地域の図書館など外部に配布してよいか」というご意見をいただきました。

ロータリアンに対する情報誌ではございますが、地区協議会雑誌広報部門でも話が出ましたように積極的に広報活動のツールとしてご活用いただければ嬉しき限りです。

なお、ロータリーの公共イメージ向上のための広報誌“ROTARY ロータリー世界と日本”(A5判 10冊525円)がロータリーの友事務所から発行されています。併せてご利用ください。

ロータリーの友編集委員会 地区代表委員 岡本勝士

## 地区関連の記事

### ① ロータリー アットワーク 世界遺産・熊野の森で植樹プロジェクト 縦組みp27

ロータリー100周年事業『ロータリー100年の森』覚えておられますか?高野の山の斜面で1本1本環境保全の願いを込めて植林された会員の皆様も多いと思います。本年の地区大会で『ロータリー熊野の森』のプロジェクトが発表され、仁坂知事、真砂田辺市長、村上ガバナーの3人で「二酸化炭素削減の協定書」が交わされました。100年で1100トン以上の二酸化炭素が吸収され、地下水の確保、山崩れの防止にもつながる植樹プロジェクトです。植樹には共に参加しましょう。

### ② 俳壇 - 縦組み P15

病床に祭の音のかすかなる (和歌山RC 島村安彦)

### ③ 柳壇 - 縦組み P12

出しゃばらずリバーシブルの裏で生き (堺RC 井手胡蝶)

スランプは柳壇にもありますな (泉佐野RC 赤井聡宏)

### ④ バナー自慢 堺清陵RCバナー —— 縦組みP18

## 横組み記事

## ① RI会長メッセージ 地域を育み 大陸をつなぐ (レイ・クリンギンスミスRI会長)

“Building Communities—Bridging Continents”を「二つの目的を同時に満足させる言葉」して2010-11年RIテーマに選んだと説明されています。

## ② 特集 会員増強および拡大月間 P5~11

『94歳で新会員 凜として100歳』宮崎南RCの阿南公章会員が紹介されています。67歳は赤子、何のコメントもできませんがぜひお読みください。

「量も質も」の会員増強 チューター(家庭教師)制度、新入会員研修会、クラブ活性化のために参考になる制度です。縦組みP10に広告されている『ロータリー入門書』も使われているようです。

## ③ 生きる喜びを分かち合う モントリオール国際大会 P12~16

## ④ 急接近する中国と台湾(田岡俊次氏)P17~19

## ⑤ ロータリー米山奨学事業の基礎知識 P20~21

ロータリーの基本知識 P33~40

ロータリーの基本知識 日本編 P41~48

『私たち楽しんでます』P5 基礎知識、基本知識があつての楽しみ?

「ロータリーでは、誰であろうと、自分のスキルと知識、能力をいかに活用して人々に奉仕できるかが重要なんです」(アンドレ・ブランドミュラー氏)P42

毎年『友』8月号にロータリーの基本知識が特集されています。一気に読まなくても、常に手元に置いて時々開いてみてください。『手続き要覧』と共に。

## 縦組み記事

## ① SPEECH P2~6

生き活き 子育て・心育て

埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター教授 尾崎啓子

子どもを「甘えさせる」と「甘やかせる」ということとは違います。甘えさせるというのは、たっぷり愛情を注ぎながら厳しさもあるということで、「だめなことは、だめ」と教えていくということも、当然入ってくるわけです。……

## ② 友愛の広場 P7-11 古橋廣之進さんとの思い出 蓼科RC 寺田静嗣

## ③ 卓話の泉 チーム医療 市立豊中病院病院長 島野高志氏

## ④ 言いたい聞きたい P16~17

誰もがができる会長像を目指して(京都洛中 武部 宏)

「会長になり手がなくて、2度目です」そんな声も聞こえる作今、すべての会員の皆さん

武部さんの心構え、一度お読みください。ロータリーは「NO」のない世界、まず引き受けて、1年かけて自分なりの会長像を作ればいいのか?

『ロータリーの友』紹介の一年 (岐阜長良川 山田正仁)

クラブ雑誌広報委員長様、毎月5分程度の紹介をお願いします。

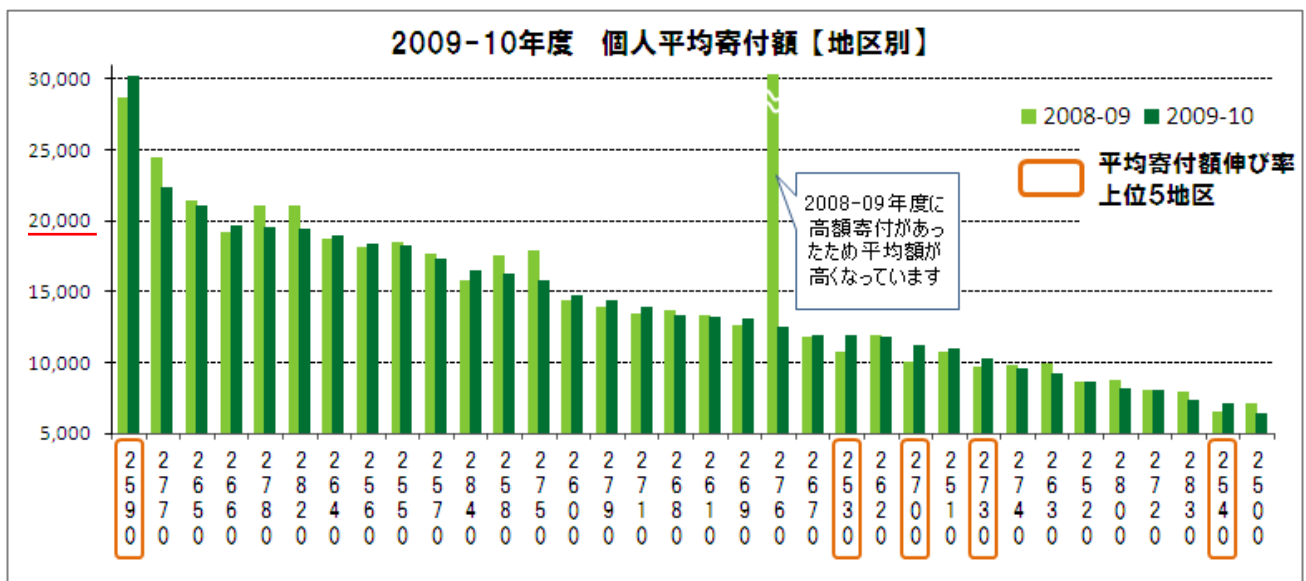
## ⑤ ロータリー ネットワーク P20~29

各地区、各クラブの地道な活動が報告されているページです。家族、友人、社員の皆さんにも読んでもらってください。そして我々のクラブも積極的に投稿を

## 1 2009-10年度寄付金結果 — 目標達成ならず —

2009-10年度の寄付金は約13億2,700万円、前年度と比べて11.2%減、約1億6,700万円の減少でした。普通寄付金が2.4%減、特別寄付金が14.7%減です。予算14億5,000万円に対しても達成率は91.5%（▲1億2,300万円）にとどまりました。会員1人当たり平均寄付額が昨年度実績よりも増加した地区は15地区ありましたが、平均額が2万円以上の上位地区は6地区から3地区へと減少し、全国平均寄付額も1,283円ダウンと大変厳しい数字となりました。

奨学事業を維持・拡大するために、今年度も引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## 2 新年度を迎えて — より一層の寄付増進を —



「地域を育み、大陸をつなぐ」というテーマとともに、新しいロータリー一年度が幕を開けました。米山記念奨学会はこのテーマを実現する国際奉仕事業です。事業の成果は、さまざまな形でこの「ハイライトよねやま」で紹介してまいりました。特にここ数年は、①国内全地区での学友会設立、②学友からの寄付増加、③台湾で学ぶ日本人留学生に対する奨学制度の創設を含む台湾学友会の活発な活動、④中国学友会の成立、⑤韓国学友会の再始動など、日本のロータリアンが蒔いた種が花開いたような嬉しいニュースが相次いでおります。今後も奨学生・学友の目覚ましい活躍がこのハイライト紙面を埋めることを確信しています。これまで世話クラブとして、またはカウンセラーとして、この事業を支えていただいた多くのロータリアンに心から敬意を表するとともに、このニュースレターのご愛読をお願いいたします。

それらに加えて、この事業を支える根幹となる資金面でのご支援をお願いしなければなりません。厳しい経済情勢、会員数の減少などにより、寄付が再び減少の傾向を強めています。少子高齢化、アジア諸国の急速な経済的発展の中で、心と心の交流を通して、世界平和を目指すこの奉仕事業の意義はますます大きくなっており、新年度にあたり、重ねて寄付増進のお願いを申し上げます。(事務局長 坂下博康)

### 3 米山学友の Jisong さんが初アルバムをリリース

在学中に産学協同プロジェクトの歌手に選ばれ、2009年1月に『二つの宇宙』でCDメジャーデビューを果たした韓国出身の米山学友、Jisongさん(2007-08/大和RC)。『ロータリーの友』よねやまだより(2009年6月号)や「ハイライトよねやま109号」でご紹介したこのニュースには、多くの反響が寄せられました。そのJisongさんのファーストアルバム『The Everlasting』が6月21日にリリースされ、発売記念コンサートが6月19日、母校の昭和音楽大学(神奈川県川崎市)で開催されました。



大和RCの佐々木和夫カウンセラー(写真右)や、鈴木憲治第2590地区米山記念奨学委員長(写真左)をはじめ、第2780地区、第2590地区の関係者も集って聴きに訪れ見守る中、Jisongさんはアルバム収録の全曲とシングル収録曲2曲、アンコール1曲を熱唱。コンサート終了後の握手会では、一人ひとりに笑顔で感謝を伝えていました。今回のアルバムでは、クラシックや映画音楽の名曲をアレンジし、Jisongさんならではの透き通るようなソプラノボイスを堪能できます。ホームページ(<http://www.vap.co.jp/jisong/>)で試聴もできますので、ぜひお試しください。



### 4 中国青海省地震の被災学友からメッセージ



米山学友の宋仁徳さん(2002-03/西都RC)は宮崎大学留学後、中国に戻り、青海省玉樹チベット自治州畜牧獣医センター所長として、ヤクの生産利用についての研究にあたっています。奨学期間後もロータリーとの交流を続け、2008年11月にはホームカミング制度での招聘を受け、第2730地区の地区大会にも参加しました。今年の4月14日、宋さんの住む青海省玉樹県を震源とする大地震が発生。死者・行方不明者約2,700人、民家倒壊1万5,000軒にも及ぶ甚大な被害がありました。世話クラブの西都RCを通じて宋さんの無事は確認できたものの、メールでの連絡は取れませんでした。6月1日、ようやくインターネットに接続できるようになったと、宋さんからのメールが米山記念奨学会に届きました。それは、地震の恐ろしさを物語るとともに、口蹄疫で揺れる第2の故郷、宮崎への心情あふれるメッセージでした。

今、振り返っても4月14日は怖かったです。山からの異様な音を耳にし、「地震だ、外に逃げろ」と叫んで妻と一緒に外に出た途端、家が崩れました。壁にぶつかったものの私たちは軽い怪我で済みましたが、同じ棟の住人7人が生き埋めになりました。素手で一生懸命に掘り起こしましたが、助け出せたのは1人だけで、とても悲しかったです。4日間は被害調査や同僚の捜索、救援物資の仕分けや配布でほとんど眠る間もなく、5日目からは疫病の流行を防ぐために、85人の救急獣医救援隊とともに、4万頭を超えるヤクや羊、馬などの死骸処理と、ワクチン接種、32万㎡の消毒を行いました。口蹄疫で「非常事態宣言」の出た宮崎のニュースを新聞やテレビで目にし、本当に心が痛みます。動物の命を助ける獣医が動物を殺さなくてはならない、畜産農家の方々も一頭一頭名前をつけて大切に育ててきた牛を目の前で殺される。本当に気の毒でたまりません。玉樹の街が一日も早く復興しますように、また宮崎の口蹄疫も一日も早く終息しますよう、祈っています。



2640地区米山学友会 主催  
上海シンポジウムにご参加しませんか？

## 上海シンポジウム

国際ロータリー第2640地区



上海スワンホテル

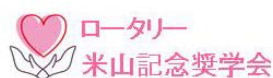


10/09 上海スワンホテル 集合  
10/10 シンポジウム 開催  
10/11 上海万博 見学  
10/12 解散

## 来賓ご紹介



大阪府立大学 副学長  
寺迫 正廣先生



事務局長  
坂下 博康先生

ロータリアン各位



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## 地区大会講演より

- ◎「ロータリーの歴史をふまえて」 南園義一 2010 2p (D.2770)
- ◎「UNDP親善大使として、見たこと、感じたこと」 紺野美沙子 2010 2p (D.2770)
- ◎「日本人のこころ」 徳川恒孝 2010 10p (D.2590)
- ◎「日本のこれから」 藤原正彦 2010 4p (D.2590)
- ◎「世界の水問題」 金杉 誠 2010 6p (D.2590)
- ◎「先人に学ぶロータリーの心 日本人の職業倫理」 島田燐子 2010 3p (D.2530)
- ◎「先人に学ぶロータリーの心 江戸時代の京都商道～石門心学とロータリー」 木戸邦考 2010 4p (D.2530)
- ◎「現代に生かす 戦国武将の知恵」 松平定知 2009 8p (D.2800)

ロータリー文庫

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階

TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時

休館=土・日・祝祭日

## 感動的な講演と興行に満ちたモンリオール大会が幕を下ろす

6月23日、カナダ、モンリオールにて、154の国々から1万8,000人のロータリアンが参加した国際ロータリー国際大会が幕を閉じました。ポリオ撲滅活動を完遂するよう激励を受けた参加者は、活動の効果はすぐに目に見えてわかるようなものではなくとも、必ず変化を生み出すものであるとの思いを新たにし、それぞれの帰途へつきました。

本会議と分科会で盛りだくさんとなった4日間の国際大会を通じて、参加者は多くの貴重な講演者の話を聞くことができました。ジョー・ラックさんをはじめ、ベストセラー作家であり、アフガニスタンとパキスタンで学校を設立した中央アジア研究所の共同設立者、グレッグ・モーテンセンさん、ボーイスカウトアメリカ連盟の事務総長であるボブ・マズーカさん、著名なカントリー・ミュージシャンで慈善活動家でもあるドリー・パートンさんなど、いずれも素晴らしい講演でした。

また講演のほかに、ソロとアンサンブルを織り交ぜた歌で知られるアイルランドの歌唱グループ、ケルティック・サンダー、幻想的なアクロバットで観客を魅了するシルク・ド・ソレイユ、美しい歌声を披露してくれたテノール歌手、ラッセル・ワトソンさんなど、参加者はさまざまなエンターテインメント・ショーを楽しむ機会にも恵まれました。

これらの詳細、そのほかの大会関連ニュースはRIのウェブサイト

[http://www.rotary.org/ja/MediaAndNews/News/Pages/conv10june24\\_wrap.aspx](http://www.rotary.org/ja/MediaAndNews/News/Pages/conv10june24_wrap.aspx)

でご覧になられます。

## END POLIO NOW

今回の国際大会では、今年に入ってポリオの発祥が激減していることが報告されました。しかし、ポリオ撲滅までは油断は禁物です。6月21日、太陽が沈み暗くなる時刻を待って、旧市街にあるボンスクール・マーケットの壁に「En finir avec la POLIO」(今こそポリオ撲滅のとき)という、フランス語のメッセージが映し出されました。

緯度の高いモンリオールが暗くなるのは午後の9時すぎ、その時間に合わせたイベントにもかかわらず、その瞬間を見ようと、多くのロータリアンと家族が集まりました。国際大会の友愛の家がおかれている国際会議場を手こぎの自転車で出発した、元ポリオ患者で、カナダのホワイトホースロータリークラブ会員、ラメシュ・フェリスさんと伴走を務めた、国際ロータリーポリオ・プラス委員会委員長ボブ・スコット氏らが会場に到着したとき、多くの歓声に迎えられました。フランス語で勧められた式典が終わり、「En finir avec la POLIO」の文字が映し出されると参加者の歓声はより大きく、そして、あちらこちらで記念撮影をする姿を見ることができました。







7月29日 羽衣ロータリークラブ公式訪問



7月28日 河内長野東ロータリークラブ公式訪問



7月29日 高師浜ロータリークラブ公式訪問



7月28日 河内長野東ロータリークラブ公式訪問



7月29日 高師浜ロータリークラブ公式訪問



7月27日 堺泉ヶ丘ロータリークラブ公式訪問



7月28日 和泉ロータリークラブ公式訪問



7月27日 高石ロータリークラブ公式訪問





7月26日 太子ロータリークラブ公式訪問



7月17日 クラブ会長会議



7月26日 海南東ロータリークラブ公式訪問



7月17日 クラブ会長会議



地区委員会交流会





7月24日 堺プロバスクラブ 総会



7月24日 ローターアクトリーダーシップフォーラム



7月23日 岸和田東RC公式訪問



7月22日 田辺RC公式訪問時、市長表敬訪問



## 2010-2011年度年間行事予定表

8月 会員増強および拡大月間 (Membership and Extension Month)		
1日	(日)	
2日	(月)	ガバナー補佐会議16時 関空日根野ステーションホテル
3日	(火)	貝塚RC 12:30
4日	(水)	堺おおいずみRC 12:30
5日	(木)	岸和田南RC 13:00 大阪金剛RC 18:30
6日	(金)	御坊RC 12:30
7日	(土)	米山記念奨学委員会クラブカウンセラー研修会 関空日根野ステーションホテル
8日	(日)	
9日	(月)	
10日	(火)	堺北西南西RC 12:30
11日	(水)	ガバナー事務所夏期休暇
12日	(木)	
13日	(金)	
14日	(土)	
15日	(日)	
16日	(月)	↓
17日	(火)	松原RC 12:30
18日	(水)	貝塚コスモスRC 12:30 松原中RC 18:30
19日	(木)	堺清陵RC 18:00
20日	(金)	阪南・泉南RC 12:30
21日	(土)	新世代部門 クラブ委員長会議 テクスピア大阪
22日	(日)	青少年交換委員会 2010~11年度長期受け入れ学生への第1回オリエンテーション・歓迎会 2009~10年度長期派遣学生帰国報告会 2010~11年度短期交換学生帰国報告会 テクスピア大阪
23日	(月)	
24日	(火)	岸和田北RC 12:30
25日	(水)	粉河RC 12:30
26日	(木)	大阪狭山RC 18:30
27日	(金)	
28日	(土)	泉佐野・りんくう泉佐野・関西国際空港RC 18:30 ローターアクト2640・2660地区交流会 紀三井寺
29日	(日)	↓ 藤白神社~熊野古道
30日	(月)	米山記念奨学会 2010年度 第1回評議会 メルパルク東京
31日	(火)	有田南RC 12:30



# 2010年6月 出席報告

クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	6月 出席率	平均 出席率	クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	6月 出席率	平均 出席率
	09.7.1	6月末	6月	累計	6月	累計					09.7.1	6月末	6月	累計	6月	累計			
有田	37	37	0	1	0	1	4	93.75	90.71	大阪金剛	31	28	0	0	0	0	4	92.90	89.40
有田南	30	31	0	2	1	1	4	98.15	97.31	大阪狭山	5	5	0	0	0	0	4	95.00	91.51
有田2000	14	15	0	2	0	1	5	93.34	90.93	りんくう泉佐野	27	26	0	0	1	1	5	74.22	76.05
藤井寺しゆら	15	13	0	0	2	2	4	95.00	95.00	堺	77	73	3	9	6	13	4	88.77	85.80
御坊	52	52	0	3	0	3	3	85.27	87.66	堺東	33	35	1	3	1	1	4	98.08	98.06
御坊東	18	15	0	0	0	3	5	89.33	87.54	堺北西南西	19	19	0	0	0	0	5	83.32	77.72
御坊南	26	23	0	3	4	6	4	82.50	87.33	堺泉ヶ丘	21	20	0	0	1	1	4	97.62	96.08
羽曳野	26	14	0	3	1	15	5	95.00	85.37	堺北	31	30	0	2	1	3	3	90.47	83.54
羽衣	22	17	0	0	2	3	3	85.96	85.29	堺南	28	27	0	1	0	2	3	80.30	80.05
阪南	13	13	0	0	0	0	4	98.08	97.15	堺中	25	17	0	2	5	10	4	71.25	69.23
橋本	50	53	0	5	0	2	3	92.75	91.71	堺西	17	18	0	2	1	1	3	89.58	89.23
橋本紀ノ川	17	17	0	1	0	1	4	89.70	87.52	堺おおいずみ	31	33	1	4	2	2	4	76.26	84.35
岩出	27	27	0	1	1	1	4	88.10	91.87	堺フェニックス	25	32	0	7	0	0	3	90.38	90.03
和泉	37	35	0	1	1	3	4	78.85	78.88	堺清陵	20	18	0	0	2	2	3	85.96	85.64
和泉南	31	26	0	0	1	5	3	62.96	61.88	堺東南	12	11	0	0	1	1	3	100.00	98.38
泉大津	47	49	0	5	2	3	3	78.43	78.35	泉南	18	17	0	1	0	2	4	86.67	86.27
泉佐野	30	34	1	6	1	2	4	90.52	92.98	新宮	59	60	1	4	1	3	4	80.66	79.91
海南	42	41	0	0	1	1	4	75.00	72.89	白浜	12	14	0	2	0	0	4	94.23	97.75
海南東	64	68	0	7	1	3	4	81.25	81.02	太子	11	14	0	3	0	0	4	76.90	77.80
海南西	22	20	0	0	2	2	4	80.70	86.24	高石	26	25	0	0	2	2	4	75.27	74.41
貝塚	17	19	3	4	1	2	4	97.16	99.12	高師浜	18	18	0	1	1	0	3	81.25	82.78
貝塚コスモス	20	20	0	0	0	0	4	93.35	94.81	田辺	85	89	0	8	1	4	4	87.98	87.92
関西国際空港	23	19	0	2	5	6	5	64.17	75.75	田辺はまゆう	30	33	0	8	2	5	4	89.07	90.44
河内長野	30	34	0	8	1	4	4	82.20	80.30	田辺東	48	51	3	6	0	3	5	91.58	92.21
河内長野東	30	28	0	1	0	3	4	100.00	97.53	富田林	32	34	0	2	0	0	4	76.85	74.56
岸和田	44	39	1	1	1	6	5	90.22	88.15	富田林南	20	18	0	0	0	2	4	85.94	77.79
岸和田東	54	52	0	3	2	5	4	92.55	92.22	和歌山	66	65	1	10	7	11	5	83.07	85.58
岸和田北	22	17	0	0	1	5	5	100.00	100.00	和歌山アゼリア	43	44	1	3	1	2	4	82.22	80.77
岸和田南	19	21	0	2	0	0	4	80.95	88.19	和歌山東	53	49	0	2	2	6	4	91.02	90.70
粉河	19	22	0	3	0	0	5	99.05	97.85	和歌山城南	39	37	0	1	1	3	4	94.70	92.81
高野山	23	23	0	1	1	1	4	98.75	96.71	和歌山北	45	50	0	8	2	3	3	87.94	81.90
串本	11	13	0	3	1	1	5	72.86	72.79	和歌山南	89	89	0	4	1	4	3	83.33	85.51
松原	35	32	0	1	4	4	4	84.79	84.36	和歌山中	29	28	0	0	0	1	4	84.53	83.25
松原中	24	19	0	0	3	5	4	85.23	85.64	和歌山西	21	20	0	0	1	1	4	95.00	95.00
美原	24	23	0	2	1	3	4	95.50	95.00	和歌山東南	41	46	0	7	0	2	4	98.29	90.04
那智勝浦	19	19	0	2	2	2	4	68.75	70.83	和歌山サンライズ	0	25	0	0	0	0	3	97.33	96.57

クラブ	7月1日クラブ会員数				6月末クラブ会員数				6月平均 出席率	入会		退会	
	男性	2100	女性	133	男性	2065	女性	153		6月	累計	6月	累計
72	2233				2218				87.20	16	201	88	216





## 2010-2011年度ガバナー事務所

〒590-0021 大阪府堺市堺区北三国ヶ丘町1丁1番16 C棟14号  
ガバナー事務所 (7月1日より)

TEL : 072-224-2640

FAX : 072-224-2650

E-mail : [info@rid2640yoneda-g.org](mailto:info@rid2640yoneda-g.org)

HPアドレス : <http://www.rid2640g.org> (継続)

※ 電話番号等は、7月1日(木)からの変更ですので、  
くれぐれもお間違いのなきようお願いいたします。